

# コカ・コーラ ボトラーズジャパンによる 水資源保全の取り組み

2023年10月12日

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

ハッピーなひとときを、  
ボトルから。  
We bottle happy moments.

*Coca-Cola*  
BOTTLERS JAPAN INC.

# AGENDA

- 日本におけるコカ・コーラビジネスとコカ・コーラ ボトラーズジャパン
- コカ・コーラシステムのサステナビリティフレームワークと  
コカ・コーラ ボトラーズジャパンの非財務目標「CSV Goals」
- コカ・コーラ ボトラーズジャパン、水資源保全の取り組み

# AGENDA

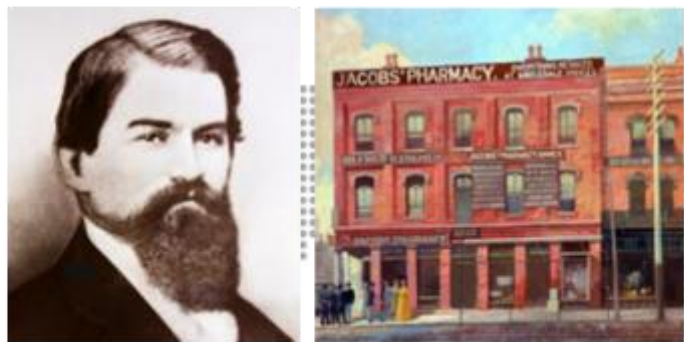
- 日本におけるコカ・コーラビジネスとコカ・コーラ ボトラーズジャパン
- コカ・コーラシステムのサステナビリティフレームワークと  
コカ・コーラ ボトラーズジャパンの非財務目標「CSV Goals」
- コカ・コーラ ボトラーズジャパン、水資源保全の取り組み

# コカ・コーラの歴史

1886

## ジョン・ペンバートン博士

ジョージア州アトランタにて「コカ・コーラ」を発明



1923

## ロバート・ウッドラフ

ザコカ・コーラカンパニー社長就任



1887



世界初の試飲クーポンを  
開発

1894



ボトル入り飲料  
として発売

1915

「コカ・コーラ」ボトル  
(コンツァーボトルの名で知られる)  
意匠登録



1916

「コカ・コーラ」ボトル  
(コンツァーボトルの名で知られる)  
市場導入

1924



携帯用6本入り  
カートン発売

Coca-Cola  
BOTTLERS JAPAN INC.

# 日本におけるコカ・コーラビジネスの紹介

## 日本のコカ・コーラシステム



(株)コカ・コーラ  
東京研究開発センター

- 1 北海道コカ・コーラボトリング株式会社
- 2 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社
- 3 コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
- 4 北陸コカ・コーラボトリング株式会社
- 5 沖縄コカ・コーラボトリング株式会社



# コカ・コーラ ボトラーズジャパン 概要

コカ・コーラ ボトラーズジャパンは、

1都2府35県、1億人以上のお客さまにコカ・コーラ社製品をお届けする  
アジア最大級、世界でも有数の規模を誇るコカ・コーラ ボトラーです。



## 所在地

本社) 東京都港区赤坂九丁目7番1号 ミッドタウン・タワー



## 資本金

1億円



## 社員数

約14,500人



## 売上収益

8,074億円



## 販売数量

約5億ケース

## 取扱店舗



約34万軒<sup>(※)</sup>

## 自動販売機



約70万台

## 車両台数



約11,500台

## 製造拠点数



17工場

## 営業拠点数

(ディストリビューションセンター含む)



約300カ所

## ブランド数



約40  
ブランド

## 製品数



約600  
種類以上

※グループ連結 2022年末時点

(※) スーパーマーケット、ドラッグストア・量販店、コンビニエンスストア、飲食店が対象

ミッション：「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造する」

Coca-Cola  
BOTTLERS JAPAN INC.




# AGENDA

- 日本におけるコカ・コーラビジネスとコカ・コーラ ボトラーズジャパン
- コカ・コーラシステムのサステナビリティフレームワークと  
コカ・コーラ ボトラーズジャパンの非財務目標「CSV Goals」
- コカ・コーラ ボトラーズジャパン、水資源保全の取り組み



# 日本のコカ・コーラシステムのサステナビリティフレームワーク

## 3つの重点分野

		 多様性の尊重	 地域社会	 資源
<b>直近に取り組むべき 9つの重点課題</b>	優先事項	ジェンダー	・全国規模で行う 2つのプラットフォーム (多様性の尊重、資源)で 影響力を発揮  ・持続可能で、且つ、 地域にも関連性のある 取り組み	容器 / PET
	重点事項	年齢 / 世代		水
		障がい者支援		温室効果ガス排出量
		LGBTQ		再生可能エネルギー

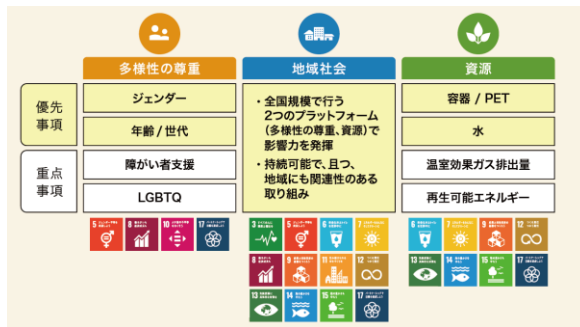
関連する  
持続可能な開発目標  
「SDGs」





# コカ・コーラ ボトラーズジャパンが非財務目標として掲げる「CSV Goals」

## ■日本のコカ・コーラシステムの「サステナビリティフレームワーク」



### 水

- **30%** 水使用量の削減 (2030年までに)
- **200%** 水源涵養率。工場周辺の水源、流域に注力

#### 製品

- **100%** 主要ブランドでのノー/低カロリー製品のラインナップ
- **300%** 特定保健用食品(トクホ)および機能性表示食品の販売数量増(2016年比)
- **100%** パッケージ前面でのカロリー表示およびわかりやすい栄養表示
- **100%** コカ・コーラシステム「責任あるマーケティングポリシー」の遵守

#### World Without Waste (廃棄物ゼロ社会)

- **50%** サステナブル素材\*の使用率(2022年までに)
- **100%** サステナブル素材\*の使用率(2030年までに)

設計

- **100%** サステナブル素材\*使用製品の割合(販売本数ベース)
- **35%** さらにPETボトルの軽量化(2004年比)(2030年までに)

回収

- **100%** 回収率と同様の回収量(2030年までに)

パートナー

- 環境保護団体や業界団体との幅広い連携(2030年までに)

#### 調達

- **100%** 持続可能な原材料調達

#### 水

- **200%** 水源涵養率。工場周辺の水源、流域に注力
- **30%** 水使用量削減(2030年までに)

#### 気候変動

- **50%** 温室効果ガス削減 スコープ1、2(2030年までに)
- **30%** 温室効果ガス削減 スコープ3(2030年までに)
- 温室効果ガス排出量実質ゼロ(2050年までに)
- 再生可能エネルギーの推進

#### 人権

- **100%** CCBJHグループバリューチェーン上でのサプライヤー基本原則(Supplier Guiding Principles)の遵守

#### ダイバーシティ&インクルージョン

- **10%** 女性管理職比率(2025年までに)
- **20%** 女性管理職比率(2030年までに)

#### 社会

- **10%** 社員のボランティア参加率
- **100万人** コミュニティプログラム参加人数累計

※サステナブルな素材、ボトルを再生することによりリサイクルPET素材と、繊維回収PET素材の両方

記載のない限り、基準年は2015年、目標年は2025年

# AGENDA

- 日本におけるコカ・コーラビジネスとコカ・コーラ ボトラーズジャパン
- コカ・コーラシステムのサステナビリティフレームワークと  
コカ・コーラ ボトラーズジャパンの非財務目標「CSV Goals」
- コカ・コーラ ボトラーズジャパン、水資源保全の取り組み

# 当社の考える水の循環

## 1.Reduce

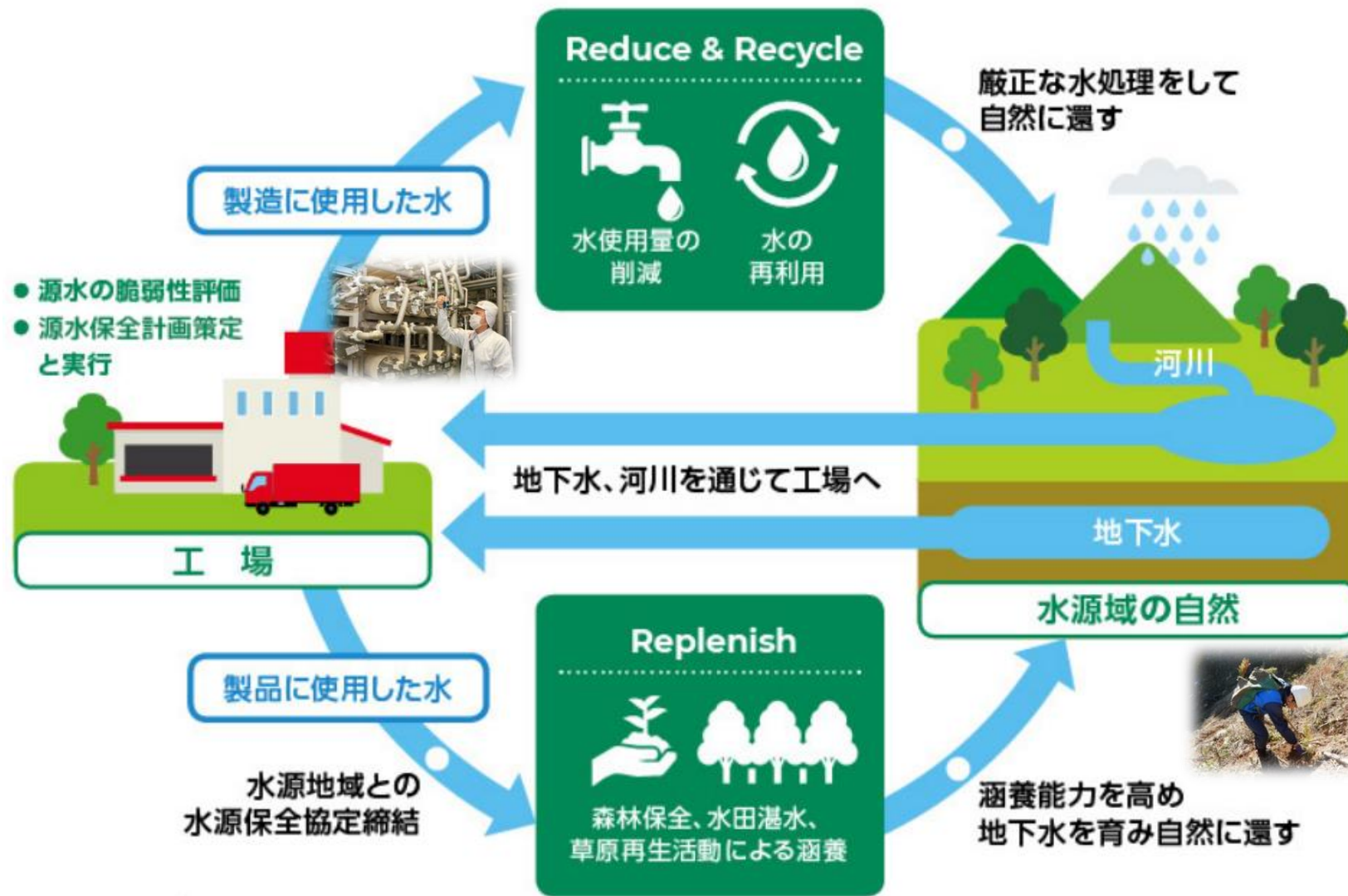
製造過程における水使用量の削減

## 2.Recycle

製造過程で使用する水の再利用

## 3.Replenish

水源域の水涵養



## ■ CSV Goals 「水」の目標



● **30%** 水使用量の削減  
(2030年までに)

● **200%** 水源涵養率。  
工場周辺の水源、流域に注力



# 製造で使用する水のさらなる削減に取り組めます

取水した水の管理や製造工程での再利用、最新技術の導入など、さまざまな取り組みにより、水使用量の削減は順調に推移しています。

目標：2030年までに30%削減（2015年比）

## 製造工場における水使用量 **19%**削減

※2022年末時点

取水・水質管理



効率的活用



最新技術の導入



排水管理



各工場での取り組み

## ■ CSV Goals 「水」の目標



**水**

- **30%** 水使用量の削減  
(2030年までに)
- **200%** 水源涵養率。  
工場周辺の水源、流域に注力

# 水資源保全協定の締結

全17工場の周辺流域において、23自治体を含む52の団体と水源の保全等に関する協定を締結し、水資源の保全に努めています。

水資源  
保全流域

15

締結先  
団体数

29

締結先  
自治体数

21

+

新規締結先  
自治体数

2



八王子市  
HACHIOJI CITY

※2023年7月末時点

※コカ・コーラ ボトラーズジャパン 17工場 2022年末時点





# 使用した水の4倍以上を各工場の流域に還元しています

実際に水を使用する地域に還元することが重要と考えています。

製品に使用した水



目標値  
200%

水源涵養率  
**420%**  
(2022年末時点)

地域へ還元した水



製造工場(所在地)	水源協定地域	水源涵養率	水源涵養面積
蔵王工場(宮城県)	宮城県刈田郡蔵王町	150%	239 ha
埼玉工場(埼玉県)	群馬県利根郡片品村	549%	1,747 ha
岩槻工場			
茨城工場(茨城県)	茨城県石岡市	667%	1,000 ha
多摩工場(東京都)*	東京都日の出町	1%	1 ha
海老名工場(神奈川県)	神奈川県厚木市、海老名市	924%	1,487 ha
白州工場(山梨県)	山梨県北杜市	138%	283 ha
東海工場(愛知県)	岐阜県恵那市	190%	211 ha
京都工場(京都府)	京都府綴喜郡宇治田原町	173%	307 ha
明石工場(兵庫県)	兵庫県丹波篠山市	412%	655 ha
大山工場(鳥取県)	鳥取県西伯郡伯耆町	733%	427 ha
広島工場(広島県)	広島県三原市	791%	705 ha
小松工場(愛媛県)	愛媛県西条市	194%	100 ha
鳥栖工場(佐賀県)	佐賀県鳥栖市	253%	451 ha
基山工場	佐賀県基山町		
熊本工場(熊本県)	熊本県阿蘇市、菊池郡大津町	465%	321 ha
えびの工場(宮崎県)	宮崎県えびの市	522%	203 ha

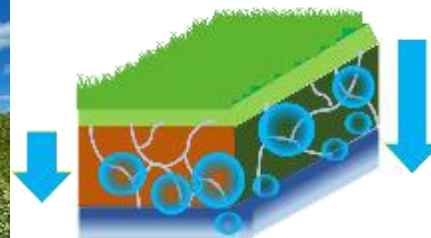
# 水源涵養（Replenish）の取り組み

さまざまな手法を活用して、各工場流域での水源涵養を効果的に実現しています

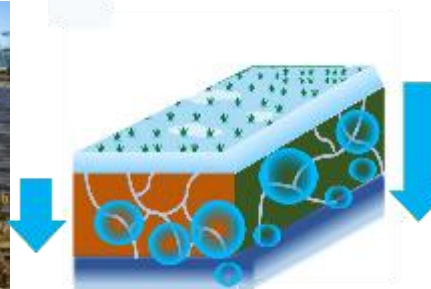
## 森林保全



## 草原保全

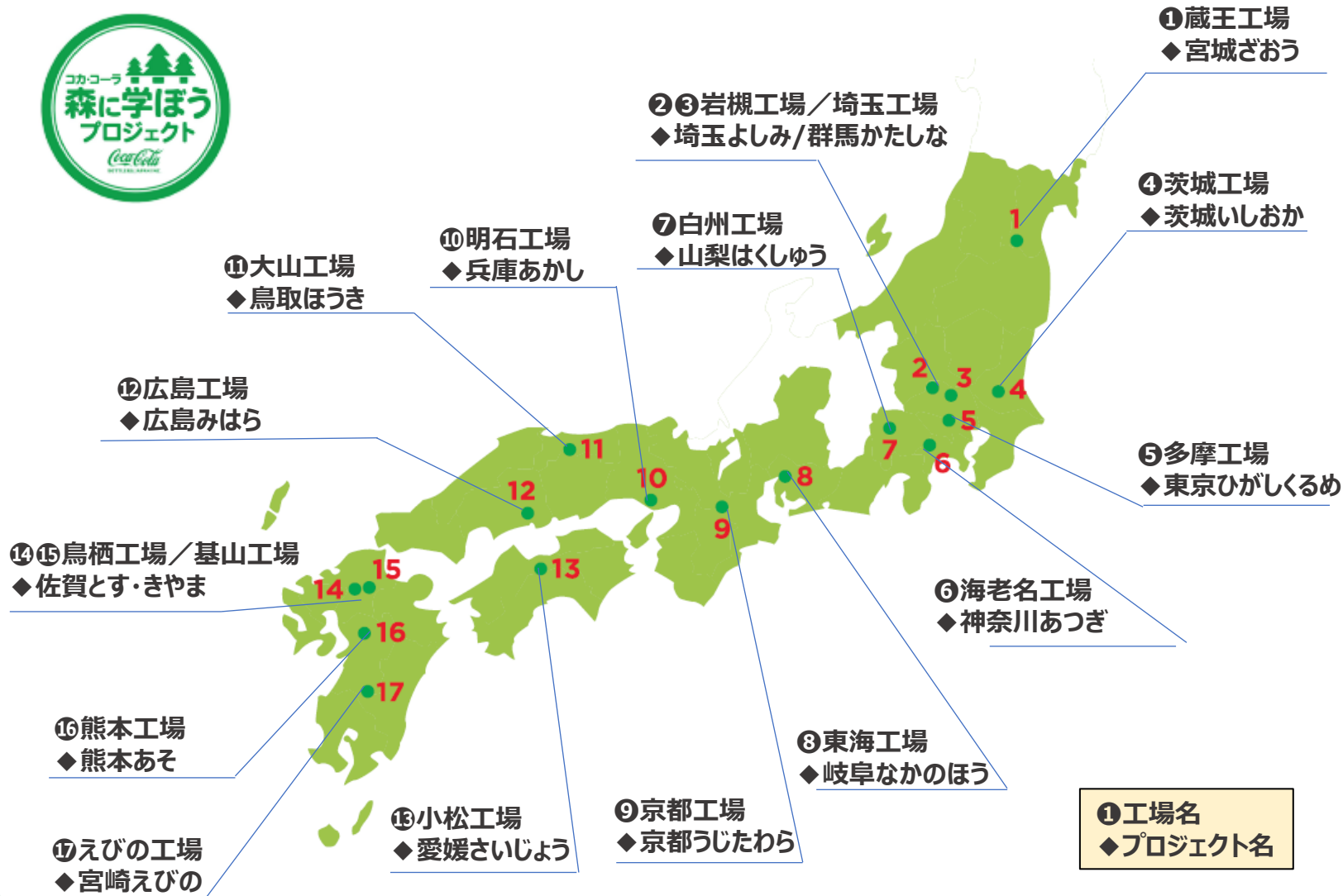


## 水田たん水





# コカ・コーラ「森に学ぼう」プロジェクトの展開





# 事例紹介：コカ・コーラ森に学ぼうプロジェクトin宮崎えびの

## えびの工場（宮崎県えびの市）



公園工場「グリーンパークえびの」の名称で親しまれ、年間15万人の来場者が訪れる



工場見学者施設「コーク館」

## ●AM\_プログラム例



開会式



竹林整備・タケノコ収穫



タケノコの生態説明



竹林整備・タケノコ収穫



# 事例紹介：コカ・コーラ森に学ぼうプロジェクトin宮崎えびの

## ●PM プログラム例



森林散策（麓共有林）



林業重機の試乗体験（西諸地区森林組合）



森林の成り立ち・生態系の説明（市 畜産農政課職員）



チェーンソーによる丸太輪切り体験（西諸地区森林組合）



自生する野草の説明（麓共有林）



参加者送迎用バス（えびの市提供）

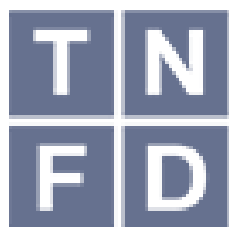
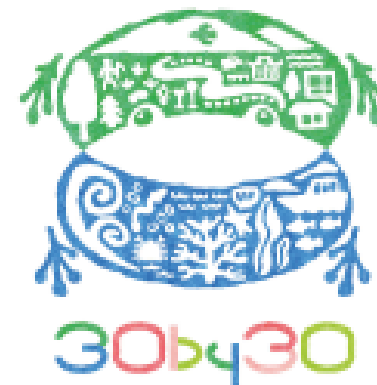
# 水に関する取り組みへの賛同・参画、外部評価の獲得

**WE SUPPORT**



**WE SUPPORT**

**CEO  
WATER  
MANDATE**







ご清聴ありがとうございました

ハッピーなひとときを、  
ボトルから。  
We bottle happy moments.

*Coca-Cola*  
BOTTLERS JAPAN INC.